市岡小学校110年のあゆみ

1918～1930

多くの人でにぎわった市岡パラダイス



市岡小学校
マスコットキャラクター
『マナビ』

市岡パラダイス

　1925年（大正14年）、夕凪橋の北側に、当時としては斬新な娯楽施設「市岡パラダイス」が開園しました。この施設の中には、大劇場や映画館などのほか、スケート場や大浴場などがあり、大阪の名所の一つになりました。

　施設の中でも、飛行塔が大人気でした。塔の上部に回転する鉄骨を取り付け、ゴンドラを吊るす飛行塔は、当時としては珍しい大型遊具でした。それ以外にも、「北極殿」と称されたアイススケート場や、千人風呂、野外劇場などがあり、演芸や浄瑠璃も行われていたそうです。また、池や人工滝、農園もありました。



▲市岡パラダイス



▲1925年開園当時の市岡パラダイス



▲人工滝と池



▲飛行塔

できごと

1918年（大正7年）	木造二階建東棟6教室及び北棟2教室竣工。
1919年（大正8年）～1922年（大正11年）	市岡第三・第四・第五・第六小学校が順次新設される。 それに伴い、児童若干名ずつを学校に送る。
1922年（大正11年）4月　1日	**高等科を併設し、大阪市市岡第二尋常小学校と改称**
1924年（大正13年）9月22日	木造二階建の雨天体操場（階上に普通6教室・理科室及び準備室・唱歌室）
1925年（大正14年）	港区誕生（市岡・九条・築港・三軒家・泉尾で構成） 戸数58,117　人口267,119（人口は全市第1位） 市岡パラダイス開園
1929年（昭和4年）	尻無川北通りに、仮教室6教室設置。 校舎狭隘のため、尻無川北通り5丁目147番地の２に、仮教室6教室を設け、4月より3年児童を仮教室に収容。
1930年（昭和5年）	**南市岡小学校が市岡小学校より分離独立**
11月　1日	南市岡小学校新設に伴い、6年以下約700名を送る。